

大阪公立大学とオープンナガヤ

オープンナガヤ大阪は、
大阪市立大学大学院生活科学研究科、生活科学部居住環境学科による
大阪長屋改修成果を発表するアートイベントから生まれました。
2011 年度から毎年秋に2日間開催していて、
現在は大阪公立大学長屋保全研究会に引き継がれています。

長屋改修と大阪公立大学

長屋を魅力的に生かしていくために欠かせないのが、改修です。
建物の中は、それぞれの長屋によって個性あふれる改修がなされています。
今も昔の姿をとどめている長屋は、一見にも変わっていないように見えますが、
元々の材とそこに馴染むように吟味された新しい素材とで新旧の対比がなされています。
大学生がリノベーションに携わっている長屋もあります。
昔から残る建物が今のように生かされているのか、
改修に注目して長屋をめぐる、おもしろい発見があるかもしれません。

個性を表す

長屋ごとに異なる個性は、用途や長屋人の想いが大きく反映されています。
歴史的な面影を残すもの、新たな用途を取り込んだもの、
改修によって長屋は個性をさらに表現する場へと変化します。

耐震補強

長屋改修にかかせない耐震補強。
実際どのようなものなのか注目してみることも面白さの1つです。
耐震補強の手法は1つではなく、長屋の特徴からどういったものが良いか考え、
補強が行われています。

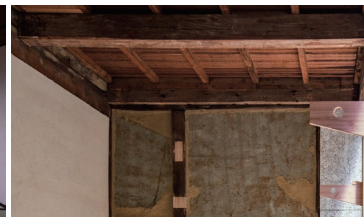
長屋改修のデザインテーマ



暮らす場所として
長屋を再生すること



伝統を尊重すること



素材を吟味すること



大阪市大モデルナガヤ

大阪公立大学（大阪市立大学）では、
長屋保全活用の研究の一環として大阪長屋の改修に取り組み、
大阪市立大学から引き継いだ“大阪市大モデル”の構築を
進めています。

今年度参加の“大阪市大モデル”ナガヤ

1 2 3 5 11

Before ▶ After

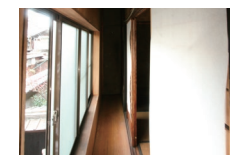
建築当初の間取りを尊重しつつ、
素材を新たに暮らす場所として長屋を再生。

大阪公立大学の大阪長屋への取り組みは、15 年ほど前に遡ります。大阪の住文化を担う重要な建築である長屋に関する調査を始めるとともに、実際に長屋の保全・再生に取り組んできました。2008 年に竣工した豊崎長屋・主屋を皮切りに、25 軒を越える長屋や町家の改修工事を行ってきました。オープンナガヤ大阪では、このようにして生まれた大阪市大モデルを含めた大阪長屋の、暮らしの魅力を伝える活動を行っています。戦前に建てられた長屋が激減している大阪のまちで、これらの活動を通して長屋の保全活動を促進し、大阪長屋のネットワークが広がっています。

改修前 ▶ 改修後



改修前 ▶ 改修後



豊崎長屋 photo: yuko tada

最近の長屋改修

北終長屋1改修プロジェクトでは、「参加型改修」を取り入れた内装工事を実施しました。
地域のお年寄りや親子連れなど多様な層の参加を生むため、DIY だけでなく、空間活用のアイデア出しなどの気軽に参加できるプログラムも組み込んできました。

